

第8回日本臨床検査学教育学会学術大会 ならびに教員研修会 および科目別分科会第1回例会のお知らせ

岩谷 良則*

【第8回日本臨床検査学教育学会学術大会】

- ① 日 時：平成25年8月26日(月)午後～
8月28日(水)午前
- ② 場 所：〒565-0871 大阪府吹田市山田丘1-1
大阪大学コンベンションセンター
- ③ テーマ：臨床検査の未来を拓く
- ④ 担 当 校：大阪大学医学部保健学科
検査技術科学専攻
- ⑤ 大会役員
大 会 長：岩谷良則(大阪大学大学院)
副大会長：吾妻美子(高知学園短期大学)
実行委員長：山藤 賢(昭和医療技術専門学校)
プログラム委員長：渡邊幹夫(大阪大学大学院)
教育研修会委員長：永尾暢夫(神戸常盤大学)
- ⑥ 主 催：日本臨床検査学教育協議会
- ⑦ 後 援：文部科学省、厚生労働省、日本臨床
衛生検査技師会
- ⑧ 事 務 局：〒565-0871 大阪府吹田市山田丘1-7
大阪大学医学部保健学科
検査技術科学専攻内
第8回日本臨床検査学教育学会
学術大会事務局
- ⑨ E-mail： jamte8@sahs.med.osaka-u.ac.jp
- ⑩ 演題募集期間：平成25年4月15日(月)～
5月13日(月)

(オンライン演題登録(下記ホームページから))
学会ホームページ：http://sahswww.med.osaka-u.ac.jp/~prevdiag/JAMTE8

第8回 The 8th Annual Meeting of
Japanese Association of Medical Technology Education

**日本臨床検査学教育学会
学術大会** | 同時開催 教員研修会
科目別分科会第1回例会

会期 平成25年8月26日(月)～28日(水)

会場 大阪大学コンベンションセンター

担 当 校 大阪大学医学部保健学科検査技術科学専攻

大 会 長：岩谷 良則 大阪大学大学院
副 大 会 長：吾妻 美子 高知学園短期大学
実行委員長：山藤 賢 昭和医療技術専門学校
プログラム委員：渡邊 幹夫 大阪大学大学院

主 催 ● 一般社団法人 日本臨床検査学教育協議会
後 援 ● 文部科学省、厚生労働省、日本臨床衛生検査技師会

テーマ **臨床検査の未来を拓く**

特別講演 日本発、世界一の診断・医療技術
杉山 治夫 (大阪大学)
ゲノム科学からみた未来医療
林崎 良英 (理化学研究所)

特別企画 ● 優秀発表賞(学生)約10名
● キャリア形成支援セミナー

演題募集期間
平成25年4月15日(月) 5月13日(月)
オンライン演題登録は下記大会ホームページから

問い合わせ
第8回日本臨床検査学教育学会学術大会事務局
〒565-0871 大阪府吹田市山田丘1-7 大阪大学医学部保健学科
E-mail: jamte8@sahs.med.osaka-u.ac.jp
大阪HP: http://sahswww.med.osaka-u.ac.jp/~prevdiag/JAMTE8

*大阪大学大学院医学系研究科 保健学専攻医療技術科学分野 生体情報科学講座 予防診断学研究室
iwatani@sahs.med.osaka-u.ac.jp

【科目別分科会 第1回例会】

- ① 日 時：平成25年8月27日(火)
午後5時30分～7時30分
- ② 場 所：大阪大学医学部保健学科
第1講義室～第8講義室
- ③ 内 容：分科会毎の会長、副会長の選出、今後の基本方針の決定など

【教員研修会】

- ① 日 時：平成25年8月28日(水)
午前9時～12時
- ② 場 所：大阪大学コンベンションセンター
MOホール
- ③ 内 容：講演とシンポジウム
「教育現場における心のケア」

第8回日本臨床検査学教育学会学術大会を、平成25年8月26日(月)～28日(水)に大阪大学コンベンションセンターで開催します。

今回のメインテーマは『臨床検査の未来を拓く』としました。医療の高度化・複雑化や超高齢社会の到来などの医療環境の大きな変化に対応するため、10数年前から臨床検査技師教育は3年制教育から大学教育へと本格的に移行してきましたが、今育っている学生が定年を迎える40数年後には医療の世界はもっと大きく変化していると予想されます。私たちはその未来を予測し、その変化に適応できる、さらにはその未来を創るような人材を育成することが求められています。今回、そのような視点で学術大会の内容を考え、現在から50年後までの臨床検査の現場をイメージできるようなプログラムを考えてみました。

第1日目の午後のシンポジウム「臨床検査の未来を拓く人材の育成」では、卒前・卒後教育と病院と学会のトップの先生方に、臨床検査の未来を予測し、人材の育成の目標や具体的な方法についてお話しいただき、議論していただきます。

第2日目午前の特別企画「キャリア形成支援セミナー」では、様々な領域で働く先輩たちに、履歴や仕事内容を紹介していただきます。

午後の特別講演「ゲノム科学からみた未来医療

」では、ゲノム科学の泰斗で「RNAの新大陸」発見で著名な理化学研究所の林崎良英領域長に医療の未来を予言していただき、特別講演「日本発、世界一の診断・医療技術」では、WT1 mRNA及び免疫療法で世界のがん医療をリードする大阪大学の杉山治夫教授に臨床検査及び医療技術の研究開発の最前線と臨床検査技師の可能性についてご紹介いただきます。

さらにシンポジウム「認定技師の現在と未来」では、臨床検査各領域の認定技師制度の詳細とその認定学会/団体をご紹介いただき、卒後教育と学術活動の現在と未来についてお話をいただきます。

第2日目の夕刻には、昨年、教育の質の向上、卒前・卒後教育の連携、研究の推進を目的に設置することが認められた「科目別分科会」の第1回例会を開催します。各例会の会長・副会長を選出し、今後の基本方針を決めていただきます。

第3日目午前の教育研修会では、シンポジウム「教育現場における心のケア」等を開催していただき、最後のランチョンセミナーでは鳥取大学の浦上克哉教授に認知症医療における臨床検査技師の役割の重要性と新しい認知症専門臨床検査技師認定制度についてお話しいただきます。

この学術大会では、第1日目の最初に会長講演「予防診断学と技師教育」で私見を述べさせていただきますが、これをたたき台に「臨床検査の未来を拓く」ための活発な討論と意見交換を行っていただけましたら幸いです。

また、一般演題では、学生の発表に対して教育効果を高めるため「優秀発表賞」を新たに設けました。午前・午後の各会場で最も上手な発表をした学生約10名を表彰したいと考えています。この賞では、プレゼンテーション能力を評価します。選考方法の詳細は学会HPに記載しましたが、できるだけ公正な選考を行いますので、学生の皆さんは奮って応募して下さい。また今回初めて「学生交流会」(無料)も開催して全国の「技師の卵」の交流を図りたいと考えています。

多くの方の参加と演題発表を心よりお待ちしております。